

S S T P (Shoyo Simple Teaching Plan)

単元デザイン

教科・科目	地理歴史・地理総合	学科・コース	1年 普通科								
単元名	自然環境と防災（第一学習社 地理総合）										
単元目標	・日本をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりなどについて理解する。 ・様々な自然災害に対応したハザードマップをはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異などに着目して、自然災害への備えや対応などについて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・私たちのまちの防災対策について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。										
課題	あなたは鹿児島市役所の職員として働いています。ある時、市民が多く利用する商業施設や学校で防災セミナーを行うことになりました。あなたは「施設周辺で想定される災害とその災害に対する適切な行動」という部分を担当することになりました。発表用の資料作成を行なっていきましょう。										
単元の中心となる問い	自然災害に対して、私たちはどのような対策をとるべきか。										
評価規準（B段階）	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度							
	・日本をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりなどについて理解している。 ・様々な自然災害に対応したハザードマップをはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。		・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異などに着目して、自然災害への備えや対応などについて多面的・多角的に考察し、表現している。	・私たちのまちの防災対策について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。							
	SP 9	基		SP 9	連	発		SP 9	分		
評価場面・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度						
	・定期考査		・グループ活動 ・発表 ・ワークシート ・定期考査		・グループ活動 ・発表 ・ワークシート						
単元の指導計画	時	学習活動					指導と評価の観点				
							知	思	態	SP 9	
	1	地球規模で見る地形の姿と自然災害					○			基礎力	
	2	人々の暮らしを取りまく自然環境					○			基礎力	
	3	変動帯の自然と防災①					○			基礎力	
	4	変動帯の自然と防災②					○	○		基礎力	
	5	湿潤地域の自然と防災①					○			基礎力	
	6	湿潤地域の自然と防災②					○	○		分析力	
	7	私たちができる災害への備え						◎	○	分析力 発信力	
	8	パフォーマンス課題【本時】						◎	◎	連携力 分析力 発信力	

※本時の実際は裏面にあります。

S S T P (Shoyo Simple Teaching Plan)

授業デザイン

日時		令和4年11月7日（月）6限目	指導者	坂口 琢真
学級		1年4組（40名）	場所	1年4組
単元名		自然環境と防災（第一学習社 地理総合）		
課題		あなたは鹿児島市役所の職員として働いています。ある時、市民が多く利用する商業施設や学校で防災セミナーを行うことになりました。あなたは「施設周辺で想定される災害とその災害に対する適切な行動」という部分を担当することになりました。発表用の資料作成を行っていきましょう。		
本時の実際	過程	主な学習活動	資質・能力の育成の工夫	SP9
	導入 (5分)	◇前時の振り返りをする。 ※前時にタブレットを用いて地形図やハザードマップ等の利用について説明をしておく。 ◇本時の課題を確認する。	・単元の中心となる問い「自然災害に対して、私たちはどのような対策をとるべきか。」を意識させるため。 ・本時において関連するSP9について確認する。	
	展開 (20分)	◇各グループ、それぞれの施設で想定される災害とその災害に対する適切な行動について考察する。（個人活動） ◇グループを作り、各自の考えを発表、議論し合い、グループとしての考えをまとめる。発表の練習も行う。（グループ活動）	・考察したり、議論したりする際には、論理性に欠ける考えや、非現実的な考えに陥らないように指導・助言する。 ・タブレットを用いて、地形図やハザードマップ、これまでの学習内容などを基に考察できるように指導・助言する。 ・グループでの議論を通して新たな視点から多面的・多角的に考察することができるよう工夫する。	分析力 連携力
	展開 (20分)	◇グループごとに発表する。	・発表に当たっては、タブレット等のICTの活用を図り、わかりやすく効果的な発表となるように指導・助言する。 ・発表の際は質問の時間を設定し、多面的・多角的に考察できるように工夫する。	発信力
	まとめ (5分)	◇発表を踏まえ、授業の振り返りを行う。	・他のグループの意見を聞き、気付いたことや新たに生じた課題などをワークシートに記入させる。	